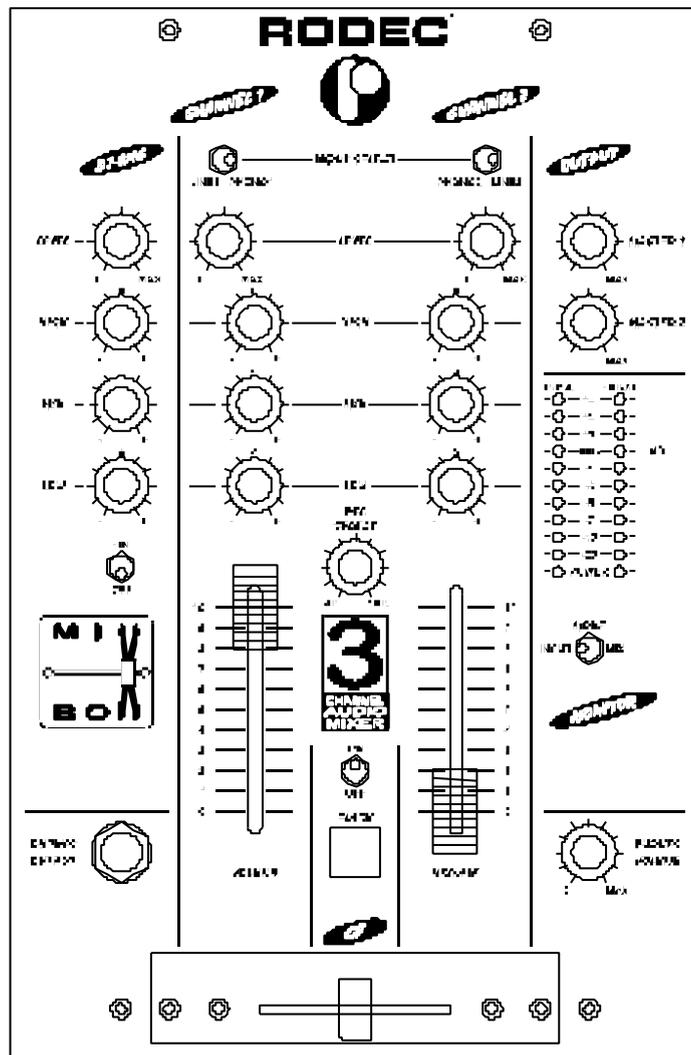


RODEC

MIX BOX

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

このたびは RODEC ミキサー、MIXBOXをお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し末永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となっておりますので、大切に保存してください。

SPECIFICATIONS 仕様

入力	入力感度	S/N 比
2 x PHONO	2.3mV/50k Ω	< -77dB
2 x LINE	220mV/50k Ω	< -86dB
1 x MIC DJ assymm.	4.0mV/1.2k Ω	< -79dB
symm.	4.0mV/22k Ω	
出力		
2 x Master assymm.	775mV/10k Ω	
1 x Recording/Aux	775mV/10k Ω	
1 x Phones	8.5V/600 Ω	

- THD: 0.02%
- トーンコントロール: Bass +/-13dB @ 100Hz
Middle +/-13dB @ 1kHz
High +/-13dB @ 10kHz
- サブソニック・フィルター: -25dB @ 10Hz
- 電源: 100V-117V / 50Hz-60Hz、AC アダプター付属
- 消費電力: OFF=6VA ON=10VA
- Approbation: CE
- 寸法: フロント: 203mm x 310mm (8" x 7U)
シャーシ: 197mm x 304mm x 83mm (Technics SL1210MKII と同じ高さ)
- 重量: 3.2kg

SAFETY INSTRUCTIONS 安全上のご注意

- 1) 雨天や湿気の多いところで製品を保管/使用しないでください。本体に液体をこぼしたり、金属片などが機材内部に入らないようご注意ください。電気ショックの原因となる恐れがあります。本体内部に異物が混入した場合、電源ケーブルを抜いてください。
- 2) 損傷のあるケーブルやアダプターを使用すると、火災や電気ショックが発生する恐れがあります。電源ケーブルやアダプターを傷めないようご注意ください。電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグ部分を持ち、ケーブル部分を持ってプラグを引き抜かないでください。
- 3) お客様自身で交換/修理可能な部品はありませんので、本体を解体しないでください。本体に不具合が生じた場合、販売店にご相談ください。
- 4) 定格電圧（100V-117V / 50Hz-60Hz）を守ってお使いください。
- 5) MIXBOXに付属の電源アダプター以外は使用しないでください。
- 6) 本体の清掃に薬品は使用しないでください。損傷の原因となるため、フェーダーに接点復活剤などを使用しないでください。

INSTALLATION OF THE MIXING PANEL 本体の設置

- 1) MIXBOXは DJ ブースに置く、またはラックマウントで設置できます。
- 2) 直射日光の当る場所、ホコリや湿気の多い場所は避けてください。
- 3) 電磁波を発生し、干渉のおそれのある電気機材のそばに設置しないでください。

FRONT PANEL, SWITCHES AND CONTROL フロントパネル、スイッチ、コントロール

- 1) **Power "ON" indicators** 電源 ON インジケーター
電源 ON 時に点灯します。
- 2) **VU meter** VU メーター
モニターモードスイッチ (4) の設定により、スプリットもしくは出力信号 (入力またはミックス) が VU メーター上に表示されます。
- 3) **Monitor-mode switch** モニターモードスイッチ
このスイッチで VU メーター(2)に表示される信号を選択できます。INPUT に設定すると左側の VU メーターにチャンネル 1 の入力信号が表示されます。また右側の VU メーターにはチャンネル 2 の入力信号が表示されます。MIX に設定するとミックス信号が VU メーターに表示されます。
- 4) **PFL-select potentiometer** PFL セレクト・ポテンシオメーター
このポテンシオメーターでヘッドフォンに出力する信号を設定します。ポテンシオメーターを一番左端に設定すると、ヘッドフォンにはチャンネル 1 入力信号が送信されます。反対に一番右端に設定すると、チャンネル 2 入力信号が送信されます。ポテンシオメーターを中央に設定した場合、チャンネル 1/2 のミックス信号を聴くことができます。
- 5) **Phones volume** フォン音量
このボタンでヘッドフォンのボリュームを設定します。
- 6) **Phones output** フォン出力
ハイレベル・ヘッドフォン・モニタリング用の出力です(ヘッドフォン 200-600Ω)。
- 7) **Input selector** 入力セクター
このスイッチで入力信号を選択します。チャンネル 1 を選択したい場合は左スイッチを、チャンネル 2 を選択したい場合は右スイッチを押してください。
- 8) **Input Level potentiometer** 入力レベル・ポテンシオメーター
各入力レベルを調整します。
- 9) **Equalizer controls** イコライザー・コントロール
高域、中域、低域のレベルをコントロールします。
- 10) **Channel faders** チャンネル・フェーダー
入力チャンネル 1 および 2 の音量をコントロールします。
- 11) **Input level potentiometer** 入力レベル・ポテンシオメーター
マイク入力レベルを調整します。
- 12) **Equalizer** イコライザー
DJ マイク用の 3 バンド・トーンコントロールです。

- 13) **DJ mic switch** DJ マイクスイッチ
DJ マイクの ON/OFF をスイッチ切り替えします。
- 14) **Master output potentiometers** マスター出力ポテンシオメーター
スレーブおよびアンプに送信する最終的な出力レベルをコントロールします。
- 15) **Crossfader** クロスフェーダー
このフェーダーを使ってチャンネル 1-2 の切替が簡単に行えます。フェーダーを一番左端に設定すると、チャンネル 1 が出力されます。反対にフェーダーが一番右側に設定されるとチャンネル 2 が出力されます。
- 16) **Flash button** フラッシュ・ボタン
このボタンを使って、クロスフェーダーで選択されていないチャンネル信号を出力に追加することができます。
- 17) **Crossfader switch** クロスフェーダースイッチ
このスイッチを使って、クロスフェーダーの ON/OFF 切替が可能です。

CONNECTIONS 接続

- A) **PHONO input Channel 1** フォン入力 チャンネル 1
入力感度 2.3mV のフォン入力端子です。RIAA 修正機能が内蔵されています。
- B) **Line input Channel 1** ライン入力 チャンネル 1
入力感度 220mV のチャンネル 1 ライン入力端子です。チューナー、テープレコーダー、MD、カセットレコーダー、ビデオデッキなどを接続してください。
- C) **PHONO input Channel 2** フォン入力 チャンネル 2
入力感度 2.3mV のフォン入力です。RIAA 修正機能が内蔵されています。
- D) **Line inputs Channel 2** ライン入力 チャンネル 2
入力感度 220mV のチャンネル 2 ライン入力です。チューナー、テープレコーダー、MD、カセットレコーダー、ビデオデッキなどを接続してください。
- E) **Ground** アース
レコードプレーヤにアース線が搭載されている場合、アース端子に接続してください。
- F) **DJ micro input** DJ マイク入力
入力感度 4.0mV のマイク入力です。
- G) **Auxiliary output** AUX 出力
録音用のカセットレコーダーや HI-FI ビデオデッキを接続する出力端子です。MIXBOX を他のミキサーやプリアンプの入力に接続する際もこの出力端子を使用してください。
- H) **Master outputs 1 and 2** マスター出力 1 & 2
パワーアンプ接続用の出力端子（左右非対称）です。マスター・ポテンシオメーター 1/2 を使えば、0~755mV の範囲で d 出力レベルを個別に調整できます。
- I) **Power switch** 電源スイッチ
本体に AC 電源を供給します。
- J) **Power inlet** 電源入力
変圧器を接続する端子です。MIXBOX に同梱された変圧器以外は使用しないでください。

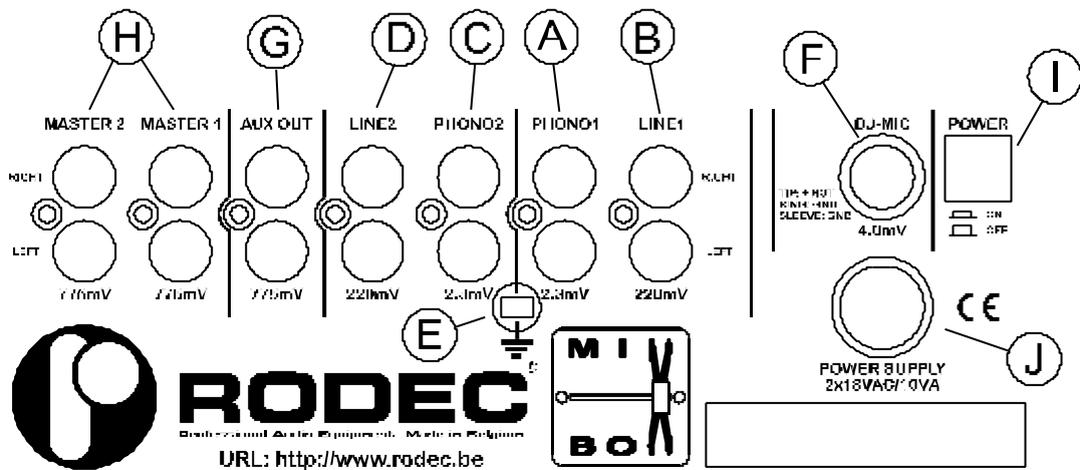
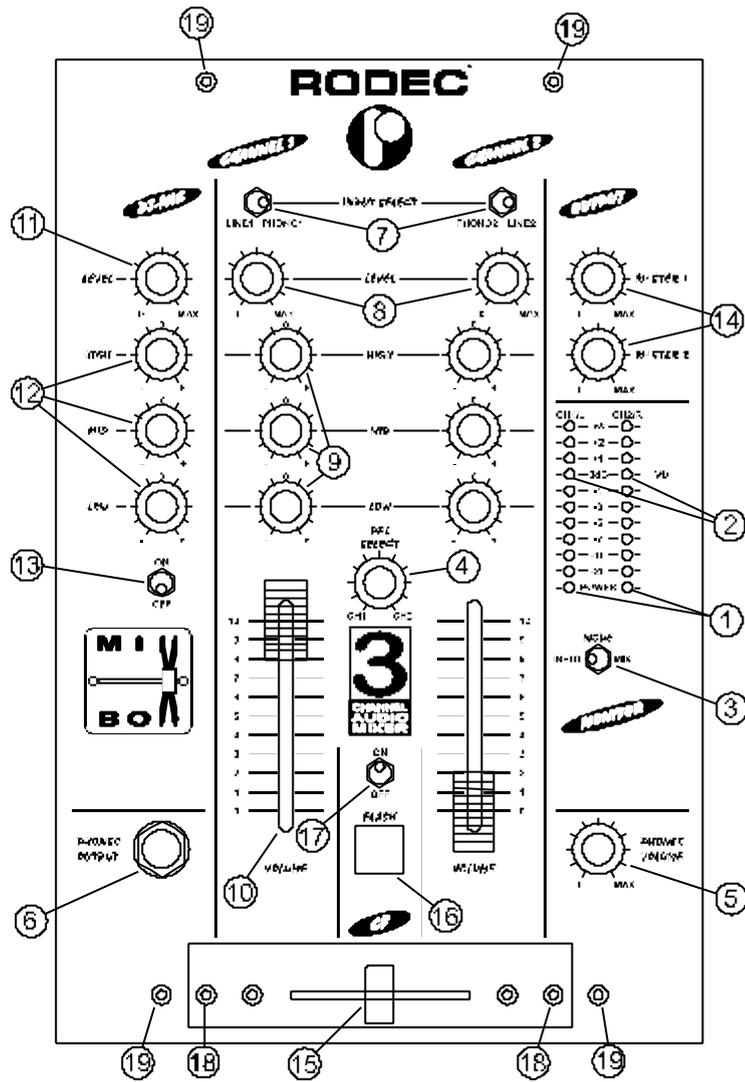
入出力ケーブルは 1 メートル以内の長さのものを使用してください。

OPERATING INSTRUCTIONS 操作

- 1) まずミキサーに接続された音源（CDプレーヤー、レコードプレーヤーなど）のスイッチを ON にして下さい。次に MIXBOX の電源スイッチ(1)を ON にします。電源インジケーター(1)が点灯し、数秒後にミキサーのパネルが操作可能になります。ここでパワーアンプを ON にして下さい。
- 2) ヘッドフォンをフォン出力端子(6)に接続してください。
- 3) 入力スイッチ（7）で音源を選択します。
- 4) PFL セレクトスイッチ（4）で任意の音源（チャンネル1または2）を選択してください。フォン・ボリューム(5)を上げると、ヘッドフォンからステレオ信号が聞こえます。モニターセレクトスイッチ（3）を INPUT に設定すると、左側の VU メーターにチャンネル1入力信号が表示されます。また右 VU メーターにはチャンネル2信号が表示されます。この機能はチャンネル1およびチャンネル2の比較に非常に便利です。いかなるモニタリングを行っても、最終的な出力信号は何の影響も受けません。次にレベルコントロール(8)で入力信号を調整します。レベルメーター(2)の黄色い LED が時々点灯するように設定してください。必要であればイコライザー(9)で全体の音質を整えます。

ご注意： 各入力に搭載されている EQ は音源ソースの音質を個別に調整するものです。全体の音質を加工したい場合、外部イコライザーを使用する事をお勧めします。

- 5) 選択したチャンネル（チャンネル1または2）のフェーダー（10）を上げます。
- 6) マスター・ボリューム（14）を設定します。
- 7) チャンネルフェーダーのレベルが両方とも上がっている場合、クロスフェーダー（15）で2つの入力チャンネルを簡単に切替可能です。フラッシュボタン（16）を使えば、クロスフェーダーで選択されていないチャンネルの入力信号も即座に追加できます。またクロスフェーダー ON/OFF スイッチ（17）により、クロスフェーダーを解除することも可能です。
- 8) 音源を変更したい場合、3)~5)の手順を繰り返してください。
- 9) マイク信号を追加するには、マイクを MIC 入力（F）に接続してください。まずレベルコントロール(11)を 0 に設定してマイクスイッチ(13)を押します。次にレベルボタン(11)でマイク音量を調節してください。マイクの音質を調整する場合、イコライザー(12)を使用してください。
- 10) ミックス信号を録音したい場合、レコーダーを AUX 端子(G)に接続するだけで OK です。
- 11) ミックス信号をメーター上で確認するには、モニター・モード・スイッチ(3)を MIX に設定してください。ミックス信号が VU メーター上に表示されます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。